



⑬ インプラント専門医の勧めるコーヌスクローネ義歯 ⑬

前回のコラムは「施設での高齢者の楽しみは食事だった!」という話で、最高の楽しみは家族と一緒に食事をする事でした。なけなしの年金にまで税金がかかる日本では、貯蓄をしなければ将来が不安となります。では、その将来はいつでしょう?どこでその将来のためのお金を使うのでしょうか?

使い道が決まっている方なら良いかと思いますが、今まで一生懸命働いてきた自分のため、自分の体にかけるのが第一だ



でも治すのではないでしょう?むしろ周りの家族が心臓のためだからと治療費をかき集めてくれると思います。それでは、今や心臓と同じ寿命に関わることはつきりしている歯ではどうでしょう?人生百年時代では本人はもとより、噛めない両親を持つことは子や孫にとっても不幸です。家族と一緒に食事をする

とが一番の楽しみなのに、それを諦めるのはもったいない事です。そうならないためにもまずは予防をしましょう。そして、噛めない方は噛めるようにしましょう。噛めない方や歯が無い方には、歯の無い所に人工の歯を植え込むインプラントという治療法があります。ひと昔前と違い世界的にはかなりの成功率となり、以前の自分の歯のように噛めると喜ばれます。以前私は義歯で賄えるという事で、インプラントを否定していた時期がありました。しかし、時代が変わりインプラントも進歩し、私もインプラントについて勉強した結果、良い治療法の一つ

という事に行き当たり、むしろインプラントを推奨するようになり、インプラント専門医にまでなっていました。そしてこのインプラントには多くのメリットがあり、デメリットもある事を踏まえ、最終的にきついた治療法がコーヌスクローネ義歯でした。この治療法は自分の歯でも、失った部分にインプラントを入れても、同じように治療ができ、何より老後に口の中を管理することが大変しやすい物なのです。管理できな

い方は、ご自分の歯でもインプラントでも歯周病になってしまい、結局最後は全部失ってしまいます。何より管理できるところが重要なのです。詳しくは健康講座や無料相談をご活用ください。



院長の無料相談

木村匡司院長がお口の相談に応じます(要電話予約)。

歯の無料健康講座

次回は、11月9日(土)、12月14日(土) 15時30分から約60分

通話料無料 フリーダイヤル 0120-255-418